薬学教育センター通信

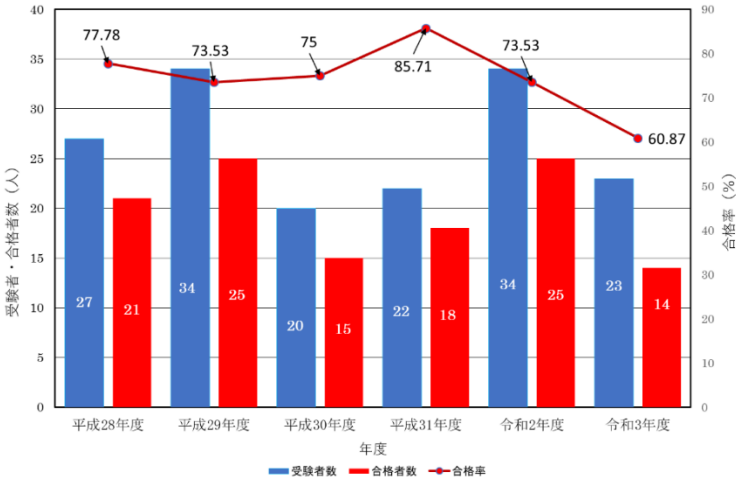
2023/6/1　No.4
青森大学薬学教育センター

1．第 108 回薬剤師国家試験の結果と第 109 回国試に向けて

令和 5 年 2 月 18、19 日の 2 日間で行われた、第 108 回薬剤師国家試験の合格発表が 3 月 22 日にありました。本学の新卒および既卒の受験生の合格率は、次のとおりです。全国私立大の新卒者平均合格率は 84.32%でした。

	新卒（%）	既卒（6 年制）（%）
本学の合格率	60.87	18.18

参考のため、直近 6 年間の本学の国試合格率(新卒者)の推移を受験者数と共に示します。

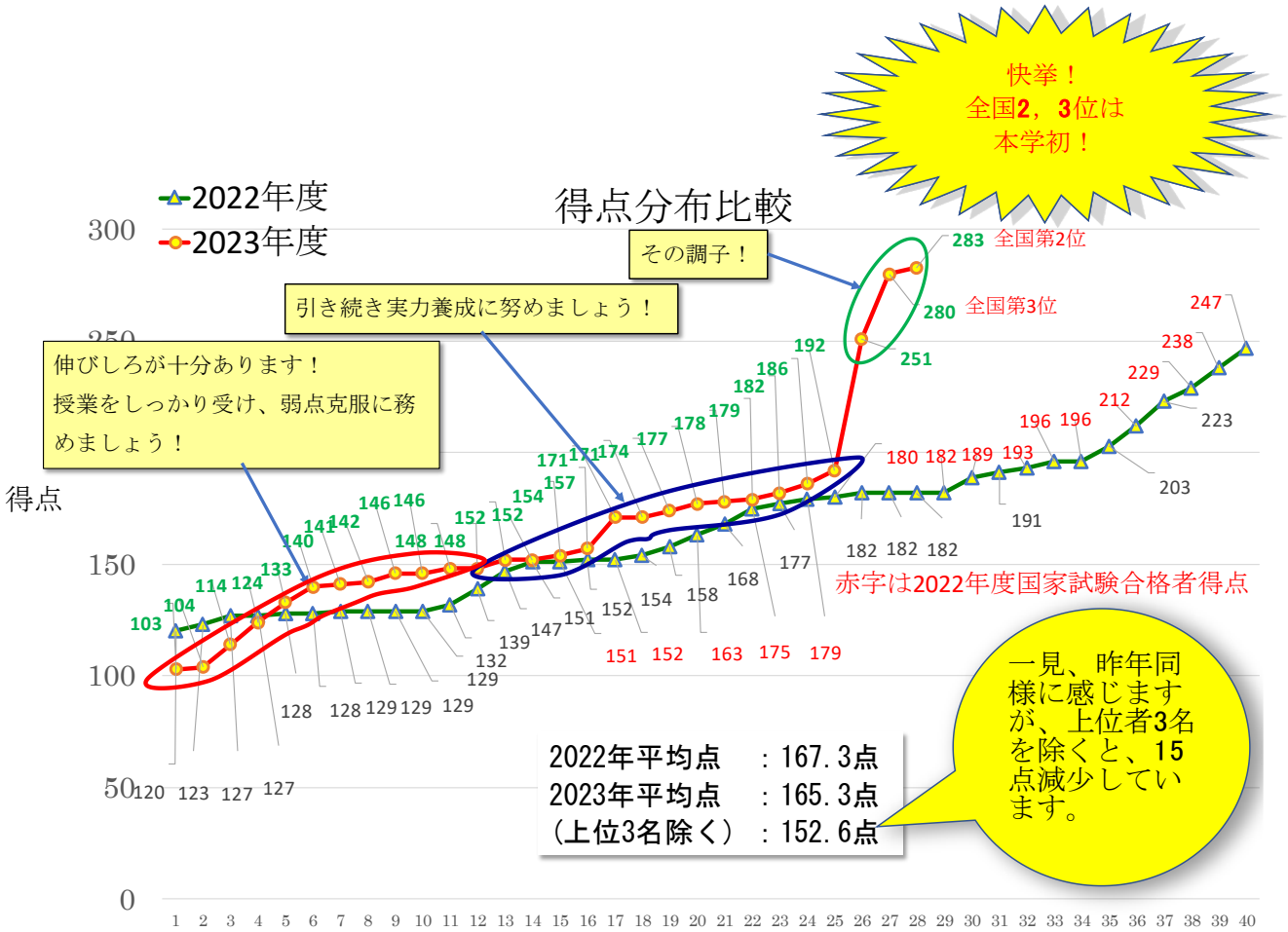


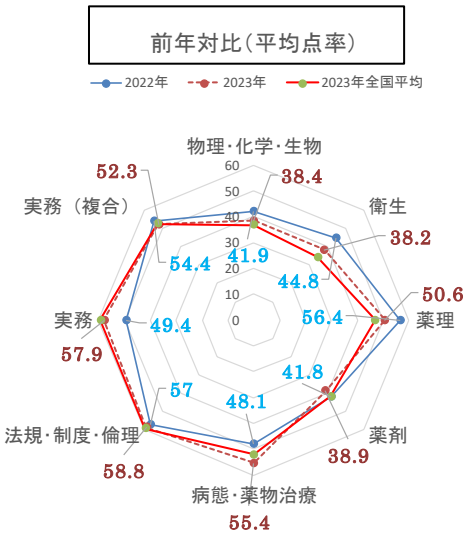
新卒者合格率の推移（平成 29 年～）

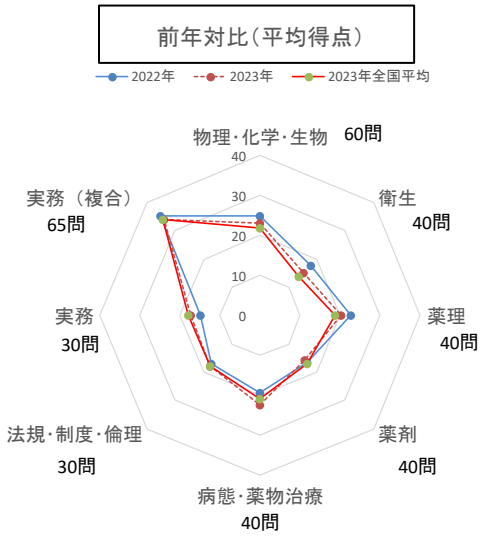
2021 年度 6 年生は模試や 11 月の薬学特論Ⅶ後期試験までの成績から現役国試合格率 80%以上が期待できると予測していましたが、実際は 60%という結果でした。本来国試合格が十分見込める薬学特論Ⅶ後期試験中位成績者の数名が国試不合格となったことにより新卒合格率が低下しました。卒延生にも当てはまることですが国試不合格者の多くは、学内で実施した補講、講習会や模試への参加率が低い傾向が見られます。模試を受けないことにより、自身の実力を把握できず、不得意分野を見つけ出し対策することができないことで成績が伸び悩んだと考えらます。今年の 6 年生は、今後の模試、補講、講習会に参加し、来年 2 月までにどこに、どれだけ力を注ぐ必要があるかを把握し、対策を進めるようにしましょう。

2. 第 10 回ファースト模試の結果について（概評）

本学初！全国順位 2，3 位獲得！　よくがんばりました。上位 3 名の学生は高得点を獲得し、実力錬成の結果が反映されたのでしょう。しかし、次点の学生と 60 点の実力差となっております。前年度学生の比較において実力の二極化が顕著になってきております。







平均点率と平均得点の分布ですが、概ね前年と同様の傾向を示しております。また、全国平均と比較しても、同様の傾向ですので、この時期では全国の薬学生も、実力は伯仲しているのではないかと思います。ただし、昨年の本学の国家試験合格率は上記の通りです。7 月の特論Ⅶに向けて、基礎学力アップが必要です。苦手克服は前期から夏季休暇中が大切な時期になります。学生諸氏の奮起に期待しております。

薬学教育センターもさらなる支援をしていきます。　国家試験まであと 9 ヶ月！ファイト！

【福井教育センター長講評】

過去問が半分以上出題されていたにも関わらず、平均点が 165 点というのはまだまだ過去問すら十分に目を通し切れていない状況と思われます。昨年の国試の結果の合格者、不合格者、卒延生がこの模試でとった点数と比較して、今自分がどの位置にいるのか、後どれだけ努力すると合格圏に入るのかなど、教育センターにて個別面談で指導しておりますが、まだ面談に来ていない学生もいます。薬学教育センターを積極的に活用をして、学力アップに取り組んでください。　学生自身の絶対評価での、学力アップでいいんです。　1 点ずつの積み重ねが合格への王道です。

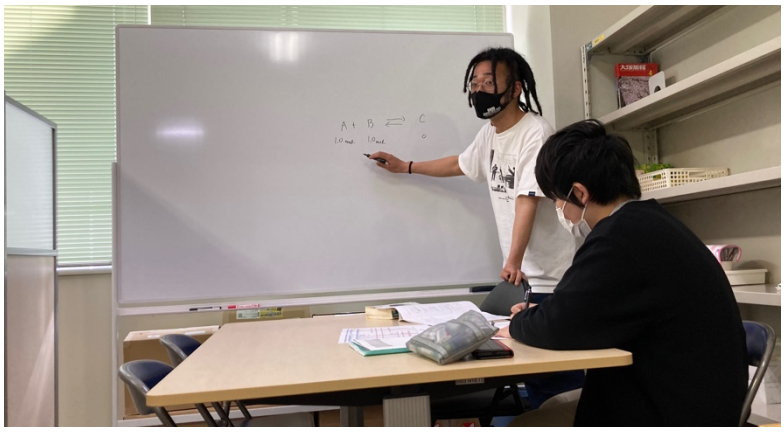
6 月の模試もがんばろう！

3. 新入生向けスタートアップキャンプが行われました

2023 年 4 月 3 日から 5 日まで薬学部新入生向けスタートアップキャンプが青森大学むつキャンパスにおいて実施されました。これは、早期に学友と親睦を図りスムーズに大学生活と講義に取り組めるようにすることを目的として行われるものです。この 3 年間はコロナ禍で実施を見合わせておりましたが、ようやくの再開となりました。これからの 6 年間、このメンバーで切磋琢磨しながら成長していくための良いスタートが切れました。

4. 薬学教育センター新職員のご紹介

新しいセンター職員として、立崎　哲也さんが赴任されましたのでご紹介いたします。高校までの物理・化学・生物の復習を担当してもらいます。すでに多くの 1,2 年生が補習、個別指導を受けています。立崎先生は薬剤師免許も取得しており、基礎科目のどこが薬学専門科目の理解に大事なのか要点をしっかりと押さえて指導してくれます。1,2 年生の皆さんは、物理・化学・生物の基礎科目をしっかりと身につけ、薬学専門科目に繋げましょう。立崎先生は、毎週火曜日と水曜日の 15:30 から薬学教育センターでみんなの訪問を待っています。わかりやすい説明と親しみやすい性格の方なので、基礎科目の補強に個別指導をどんどん利用してください。



電子の動きを

体で表現します！

みんな、待ってるよ～。